



みずいろ

滋賀県PTA連絡協議会広報紙

83

発行者
滋賀県PTA連絡協議会
滋賀県PTA安全会
会長 和田 光生
広報委員会
委員長 中村 千恵堂
印刷 竹田 膳写

滋賀県PTA連絡協議会スローガン

楽しもう！夢と希望を育む子育てを
語り合おう！親育ちのために

本年度も、「夢と希望を育む子育て」で子どもたちに「生きる力」をつけること、「親育ち」することで子どもたちを健やかに見守る、これをテーマに、広報活動をしていきたいと思ひます。
そこで、皆さまに県内PTAや各ブロックでの活動の一部ではありますが、紹介したいと思ひます。

高島ブロック（高島市） 夏休み親子ふれあい体験事業

この事業を始めて三年になる。夏のひとときを、高島市椋川の、山、川、野原など自然の中で親子でゆつくりと時を過ごす。五日間開催して、スタッフ（市P理事）も含め1日平均60名の参加。

午前中は、昼食の用意。今年のメニューは、夏野菜汁、竹飯、ピザ、米粉の手打ちうどん。
親子で野菜を切る。竹飯を炊く。ピザの粉をこねる。トッピングをする。うどんをこねる。等々すべて親子で。親は子どもを見守りアドバイス。こどもは一生懸命仕事をする。不思議とけがはしない。
昼からは講師を招いて川の自然観察、隠れ家づくり、草木染め等々。終わってからも川でひと遊びして帰る家族もいた。
みんな笑顔で喜んで帰る姿をみて、スタッフは準備



参加者の感想を紹介

・このような体験は家族だけではできないので良かったです。
・子どものいろんな表情を見ることができて有意義な一日だった。
・他の小学生と顔なじみになれ嬉しい一日だった。

も大変だったけど、疲れも吹っ飛びまた来年もしたいという気持ちになる。
大変な分スタッフの絆も強くなる。

一人はみんなのために、みんなは一人のために

日野町立必佐小学校PTA

今年の必佐小学校PTAのテーマは三銃士の合言葉「一人はみんなのために、みんなは一人のために」です。
東日本大震災から半年が経ちましたが、今もまだ復興の見通しが立たない状況も見られます。

必佐小学校の5・6年の児童は、総合的な学習の時間に、東日本大震災にあらわれたことを受けて、自分達に何ができるかを考えました。そして、必佐小学校PTAといたしましては何かできないかと思ひ、総会や音楽会の機会に募金活動を行いました。

また、夏休みには「親子でボランティア」というPTA版夏休みの宿題を提案して、親子ボランティア活動に取り組みました。実施された内容は、「地域のお地藏さんの掃除」「ぞうさんを親子で縫って学童保育所にプレゼント」「アルミ缶やペットボトルのキヤップ回収」「公園や駅、近所の草引き、ゴミ拾い」「高齢者福祉施設の納涼祭ボランティアに親子で参加」...など様々です。自分達にできることを親子で考え、少しでも誰かの役に立つように活動し



たことは、直接震災の復興には結びつかないかもしれませんが、助け合う気持ちを考えたり、人の為に働く大切さを感じたりする貴重な体験になりました。
何ができるかを親子共々考えていきたいと思ひます。

湖北ブロック（長浜市・米原市） 尾木 直樹氏 講演会

8月7日浅井文化ホールにて、今テレビで人気の尾木ママこと尾木直樹先生の講演会が開催されました。テレビで見るとおりの口調で、「子どもの心と大人の愛」というテーマで、雑談も交えてお話しいただきました。

子どもを褒めてさせるのを正（プラス方向）の強化、脅してさせるのを負（マイナス方向）の強化の二つがあり、正の強化の方が子どもは二倍、三倍とやる気が出てきて、モラルが育っていくと言われました。
そして、子育て、教育において大事なことは、信頼



「自己肯定感であるが、日本の子どもは自己肯定感が弱いとも言われました。一番大事なことは「心

感想から

・信頼関係を大切に、子どもとの接し方を見直す。
・親子関係が日本の未来を造っていくとなると、もつと真剣に、大切に子どもと付き合いたい。
・家で、学校で、心に元気を与える子育てを。

に元気を」と言われ、子どもが辛かったら、親はその辛さを共感してあげることで、心に元気が与えられるそうです。
なかなか、忙しいと子どものことはほったらかしになってしまします。手遅れにならないよう、常に子どもの声を聞いて共感してあげて、いつも子どもへの心が元気でいられるようにしてあげたいものです。

第59回 日本PTA全国研究大会

皆さん！みんな！やりんさい！
子どもたちの笑顔のために
がんばろう日本！
平和な未来へ
ひろしまからの発信！

平成23年8月26日（金）、27日（土）、28日（日）にわたり日本PTA全国研究大会が広島県にて開催されました。

一日目は、10分科会が行われ、滋賀県PTA連絡協議会の35名は、各担当分科会に参加致しました。二日目には広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）にて全体会が行われ、全国より八千人もの人が集結しました。

全体会は、安芸高田市立美土里中学校の生徒によるオープニングアトラクション、伝統芸能の「神楽」から始まり、開会式の後、講師の乙武洋匡氏の「みんなちがって、みんないい」と題した講演が行われました。

乙武氏は、大学在学中に自身の経験を綴った「五体満足」がベストセラーになり、その後スポーツライターとして活躍されました。2005年4月から東京都新宿区教育委員会の非常勤職員、「子どもの生き方パートナー」として活動される傍ら、通信教



▲熱演する地元中学生の神楽

育で、小学校教諭二種免許状を取得されました。2007年から3年間の期限付きで先生となられ、3・4年生をもたれて、その当時の経験を話してくださいました。

乙武氏曰く、「ジグソーパズルの様に異形の絵が出来るというように、人も、姿、形、考えや表現が違って最終的には同じ処に結びついていきます。」と。その話は、とても素敵で、他人と違っていても何もおかしいことではなく、あえて、それが当たり前だということを意識づけるとなりました。

最後に復興支援コンサートがあり、原田真二さんが熱唱され、賑わいをみせました。

第1分科会《組織運営》

日本の復興 歴史に学び 未来を読む

講師 加来 耕三氏
第1分科会では、日本が誇る戦艦「大和」の建造の地である呉市にて行われました。

講師の加来先生は、テレビ番組「THEナンバ12」歴史を動かした影の主役たち」でおなじみの歴史家の先生です。滋賀を注目させ、全国区で話題となっている大河ドラマ「江」や、昨年放映された「龍馬伝」を見る事は楽しいことですが、歴史として正しく勉強すると、NHKが制作しているからといって、必ずしも歴史を忠実に再現しているわけではなく、あくまでも、ドラマであると言われました。それに、昨今は、怒涛のごとく、多くの情報が耳や目に入ってきます。加来氏は歴史が常に事実を教えてくれるし、これからの未来で何が起ころうとしているのかも教えてくれると言われました。

どんな時も「立ち止まって考える」ことが必要で、与えられた情報が今の私たちに与えて、必要か疑ってみることを大切さを感じさせていたいただきました。これからは、立ち止まって考え、自ら決断をし、行動に移せるよう忘れずにいたいと感じました。

第2分科会《平和教育》

スキンシップ コミュニケーション

講師 藤浪 辰爾氏

広島市にほど近い府中町にある、くすのきプラザを会場に、第2分科会は、開催されました。

午前中は、プロレスラー藤波辰爾氏の講演です。「藤波流子育て論」という題でしたが、期待したのはプロレスラー藤波の足跡。我々世代には興味の尽きない話題が続きます。しばらくして、プロレスの話題を中断。フロアーの同意を得て奥様を壇上に招き、藤波家の子育て論に。

その様子が、本人と奥様の話で、浮かび上がってきました。キーワードはスキンシップ・コミュニケーション。今も親子のハグは欠かさないとのこと。その力の加減で、言葉にならないメッセージを伝えておられるそうです。いろいろなエピソードで藤波家の子育ての様子が語られます。親が子に与えられる時間は、実はほんのわずかな期間でしかない、だからこそ全力で子育てしようとする夫婦で努力されている姿が彷彿とされました。

午後は、実践発表とパネルディスカッションです。府中町がある安芸郡内の三つの町から、単位PTAや町PTAの活動が紹介されました。フロアーとのやりとりは、結構PTAの本音が見えて、何か安心させられる一コマもあり有意義な時間でした。

滋賀県PTA連絡協議会

「園児・児童・生徒24時間総合保障制度」について

24時間総合保障制度とは

①傷害 ②育英費用 ③賠償責任 ④特定感染症 ⑤熱中症をセットした「こども総合保険」です。

中途加入について

自転車走行中に誤って停車中の車両にあたり、車に傷をつけ高額な修理費を請求される等の賠償責任事故が多発しています。万が一の為に、ぜひご加入されることをお勧めします。中途加入ご希望の方は「滋賀県PTA こども総合保障制度」事務局までお問合せいただくか、滋賀県PTA連絡協議会ホームページをご参照いただきますようお願いいたします。

お申込み・お問合せ

滋賀県PTA連絡協議会
『園児・児童・生徒24時間総合保障制度』事務局

フリーダイヤル

0120-577-415

受付時間9:30～17:00（土・日・祝日を除く）
<http://www.jungle.or.jp/shigaken-pta/>



第4分科会《広報活動》

伝えることは素敵なこと

講師 沖田 孝司氏

効果的な広報活動の確立を研究課題として、広島県北部にある三次（みよし）市文化会館を会場に開催されました。

基調講演では、当市出身のヴィオラ奏者である沖田孝司氏が夫人のピアノの伴奏とともに、『私の貯金箱』の演題で、話題ごとに素敵な演奏を十一曲も交えながら、魅力的なお話を展開されました。

尾崎豊の「I LOVE YOU」もそのひと

第7分科会《平和教育》

平和への心を継承し未来へ繋げていける子供達を育てるために私たちPTAができること

講師

教育サポーター

仲島 正教氏

その三人の少女達が補導された時、迎えに来た母親に向かって、ある者は悪態をつき、ある者は言葉がありませんでした。しかし、最後に残った少女は母親を見て「ごめんね」と泣き崩れたそうです。同じような境遇にいたという彼女たちの中で何が違っていた

つ。招かれた地元高校野球部交流会でのエピソードで、沖田氏が演奏後に、「アイラヴユー」を誰かに伝えるように言う

と、一人の生徒が、「お母さん、アイラヴユー」と絶叫したそうです。そして、他の生徒も支えてくれた人に対して「アイラヴユー」と後に続いたそうです。

昨日があるから今日の感謝の気持ちが生まれ、伝えたくて伝わった大切な人への気持ち。

このように、聞いたことと感じたことを心の貯金箱に入れ、誰かに話す時に引き出して使っていくのです。人と人が伝え合うことで貯金箱の中

のでしょう。涙を流した子の母親は、何も特別なことはしていないのです。ただ、毎晩遅くまで仕事で会えない話もできないけれど、帰宅したら真っ先に娘の部屋へ行き眠っている彼女に声をかける、というのです。

「ただいま…お休み。風邪ひきなや。」

心には貯金ができるそうです。誰かにかけられた温かい言葉、そっと寄り添ってくれた時間、微笑みあう瞬間。ひとつひとつは小さくても、子供のころに積み重なった優しい体験は、大人になって苦難に出会ったとき、その子を支える糧となります。

最近では、人との繋が

身は増え、楽しさや喜びの利子がついていきます。伝えることで人は昨日のものを今日、そして明日へと持っていくのですと説かれていました。

広報活動は、「いろいろなことを知ることから全てが始まり、伝えたい人に向けて発信することは、発信する者自身の存在を示す灯火（ともしび）」として大切である」と、締めくくられました。

そういう意味では、広報活動は、PTA役員と家庭、学校、地域を結ぶ大切なメディアであることが、改めて認識されました。

情報リテラシーやITモラルの指導が新学習指導要領にも明記され、学校において、児童生徒が平等に学べる環境ができたことを紹介され、有効活用についてお話しされました。

「危ないから、分らないから持たせないのではなく、親子で学び、話し合うことから始めよう。」と言われました。携帯電話の安全使用には、フィルタリングの設定が不可欠で、法律により18歳未満の子どもの使用には、設定が義務付けられています。

講師の仲島さんは、実際の距離と心の距離は比例すると言われました。子どもへの想いを抱き、抱きしめることで伝えてみませんか。

「あなたがいてよかった」抱きしめられた子どもは、きつと人を抱きしめられる人に育つ。平和への一歩は身近なところにあるような気がします。

そのことが、親子の共通理解を生み、信頼関係を深めることにつながる、子ども自身が安全な使用方法を体得していくことになるだろうと締めくくられました。

特別第1分科会

子どものネット利用から探る未来の担い手達の育み方

講師 尾花 紀子氏



地球の未来にできること。

マングローブ「海の森」づくりは、その答えのひとつです。

東京海上日動は、1999年度からNGOをパートナーに、地球温暖化の抑制に役立つマングローブの植林をはじめました。それから10年、「海の森」は5,000haを超える面積にひろがりました。マングローブ「海の森」づくりは、東京海上日動が地球の未来にかけた保険。100年間植林を継続することを目指し、取り組んでまいります。

*「マングローブ植林行動計画」「財団法人オイスカ」（1999年度～）「国際マングローブ生態系協会」（2009年度～）

東京海上日動火災保険株式会社

東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050

☎ 0120-868-100 午前9時～午後8時（平日、土日祝とも）

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/

JOIC GOLD INSURANCE PARTNER

TOKIO MARINE NICHIDO

育てたいのは

子どもたちの未来。

「高校生国際交流プログラム」協賛

「いじめ防止標語コンテスト」開催

「エコキャップ推進協会」への支援

「がん健診企業アクション」への参加

「新日本フィルハーモニックオーケストラ」協賛

ほか

AIU保険

CHARTIS

AIU保険会社

エイアイユー インシュアランス カンパニー

神戸支店

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-3

問合せ：078-360-2401 午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

お父さんの研修会
講師 市川 修氏

お父さんの研修会は、今年で13回目を迎えました。基本的に父親に集まって頂く研修会は、全国でもめずらしく、ここ滋賀県の湖東ブロック、1市4町の協力のもと、彦根市文化プラザにて開催しました。

今回、講師としてお招きしました市川氏は、フアザリング・ジャパン関西理事をされ、電機メーカーにお勤めの傍ら、本の読み聞かせもされ、高槻市柳川小学校のPTA会長もされています。

湖東ブロック
(彦根市・愛荘町・多賀町・甲良町・豊郷町)

第37回 日本PTA近畿ブロック研究大会 京都府大会

「子どものためにドッコイセ」 家庭は心のふるさと～P-tach～

10月16日、福知山市で開催。近畿各地より2,300名が集い、滋賀県より81名が参加。記念講演のほか、分科会では東近江市立湖東第二小学校PTAの小島氏が「マンネリ打破のために何が出来るか？」をテーマに、昨年度取り組まれた広報活動について、ユーモアを交えながら報告。人と人のつながりを大切に、元気の出る内容の広報紙づくりを目指した心意気が伝わってくる楽しい発表となりました。

記念講演



演 今大会の記念講演
アビリティ
イトレイ

ニングの木下晴弘氏を招き、「子どもたちに伝えたい幸せになる3つの法則」という演題で講演をしていただきました。木下氏は、関西屈指の進学塾を設立し、全国の塾・予備校・学校で、講師・教員向けのセミナーを実施されています。「授業は心」をモットーに学力だけではなく、人間力も伸ばす指導法は生徒・保護者から絶大な支持を受けています。講演の中で木下氏は、

そして、奥様と娘さん、犬(メス)女性?に囲まれている生活をされています。市川氏は、おひとりでも役もこなされていらつしやるにもかかわらず、その表情は、ソフトでこやかに語ってくださり、まさしく、笑っているお父さんがええやん、ということと活動されている姿でした。

講演では、まず、子どもとのコミュニケーションを挙げられ、自分と違う事を認めようということ、自分をどのくらい知っているか、ワークシートを取り入れ、隣の席同士で共通点を探すことで、改めて自分というものに気づかされることでした。そこから、発展的に、人間として未熟な子

子どもたちのやる気を出すためには、「なぜ勉強するのか?」「何のために働くのか?」「なぜ?」をくり返すこと(目的)を問うことで、何を指すのか(目標)が見えてくる。目的が変われば人生も変わる。すなわち目的は大切である。また、感謝・お金・信頼を得られる人は、他人を喜ばせた人、これらを得られない人は、自分が喜ぶたい人である。人生の3つの法則について取り上げられました。①人に与えたものは自分に返ってくる②幸せはなるものではなく、気づくものである③課題に向き合い続けることで成長が約束され人生は光り輝く。

また明確な目標の例として、プロ野球選手のイチローが小学6年の時に書いた作文「ぼくの夢」を紹介されました。その作文の中には、一流のプロ野球選手になるためには、と何度も問いかけがあり、何が必要であるか、明確な答えが書かれてあり、最後に、成功の反対とは?何もしないこと。課題に挑戦し続ける勇気が大切であるという言葉で締めくくられました。木下氏の人生の3つの法則を、自分たちの日々の生活の中で是非実践していきたいと、興味深く話を聞かせていただきました。

子どもにとつて親は絶対的存在であり、それにより親が力によって、服従させるものではなく、子ども自身を認めること、子どもと信頼関係で、失敗できる環境の必要性、褒め方や約束事の例をあげられ、わかりやすく話をしてくれました。

次に、ママとのコミュニケーションは、もちろん大切な事柄であり、お互い高め合い、尊敬、感謝の存在になっていくことが大切との事でした。

理想の父親像としては、子どもの可能性をサポートし、そのためのスタート地点へ誘い、人生の楽しさを自身の身をもって示していきたいと話されました。

また、PTA会長になられた理由を話され、その結果、色々な事がわかり、役員をすることの重要性も垣間見えました。最後に我が家の幸せの3つのルールということ、一に感謝の気持ちで伝える。二に尊敬できる部分は持つ。三に余計なルールは作らないというように自分の家庭でも実践されるお父さんがいらつしやるのではないかと、思いました。

講演後、講師の方とのトークも交えて、和やかに閉会しました。



編集後記

子どもを通して活動している私たちにとって活動内容や場所は違っても行き着くところは同じ。共鳴し合い、また、子どもとひびきあひながら子育てを地道にやっていく一歩一歩、足踏みしながらも前進。繋がる人たちに感謝。

花壇が繋ぐ活動の輪
東近江市立湖東第二小学校PTA

本校PTA活動の中でもメインになっているのが、学区内の地域ごとに作られる花壇だ。まずは苗植え。子どもたちにはデザインをさせる。男の子はこういうわけか97%の率でサッカーボールを描こうとする。女の子の場合は実現困難な複雑なものも考えてくる。仕方なく親が考え、子どもたちには作業をさせる。しかし途中で姿を消し、サッカーで遊んでいたりする。水やり等の世話も子どもたちの役目。なかなか帰ってこないと思ったら、またサッカーに興じている。咲き誇った花は地域の人の目を楽しませる。PTAの環境部と三役が、春と秋に審査をする。賞の重労働だ。撮った写真は広報紙にも掲載される。表彰式で子どもたちはもともと嬉しそうに咲かせると誓った数分後にはサッカーをしに駆け去っていく。

結局は大人たちが作業をするように思えるのは気のせいだろうか……



*** PTA安全会より ***

PTA行事参加中に事故が起こったら…
各単位PTAを通じ下記へご連絡ください。

AIU保険会社

取扱代理店

(株)アーク・スリー・インターナショナル

〒520-0051 大津市梅林 1-15-30 林ビル2階

TEL (077) 527-6823 FAX (0120) 527-606

(平日: 9時30分～17時まで)

滋賀県PTAホームページ <http://www.jungle.or.jp/shigaken-pta/>

“書き損じハガキ” “テレホンカード” の提供にご協力ください!!

一会員1～2枚のご提供を全会員にいただけたら

目標の10万枚は軽く突破。その換金額はなんと **200万円超!**

平成22年度分411,608円
書き損じハガキ9,697枚
未使用テレホンカード342枚

ご協力ありがとうございました。